

1. 幼児期の重要性

2000年にノーベル経済学賞を受賞したジェームズ・J・ヘックマン氏のペリー就学前教育プロジェクトの研究成果は、社会に大きな衝撃を与えました。幼児期に、質の高い教育プログラムを受けたグループと受けなかったグループを、長期にわたり追跡調査したこの研究では、幼児期の学びについて2つの重要な指摘がなされました。

一つ目は、就学前教育がその後の人生に大きく影響を与えるとした点です。二つ目は、就学前教育では、知能指数(IQ)に代表される認知能力を育むだけでなく、自己肯定感や主体性、協調性、社会性といった**非認知能力**を育むこともまた、より豊かな人生を送る上で重要だとした点です。



“非認知能力”

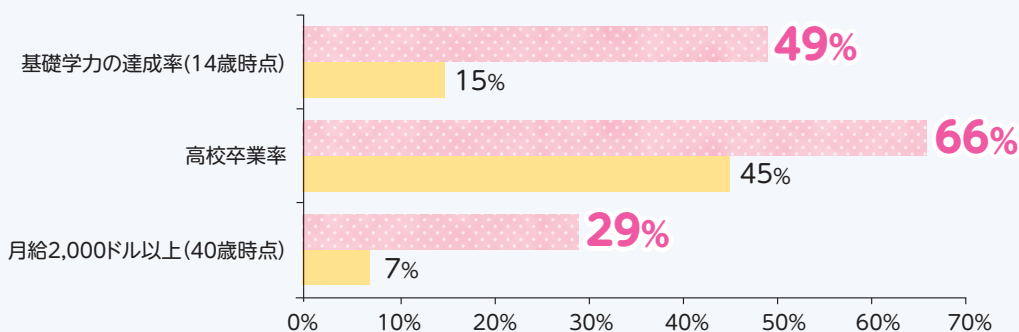
自己肯定感や主体性、協調性、社会性、自制心、計画性などの目に見えにくい能力のことです。読み・書き・計算のように学力テストや成績で測られる認知能力と対比されますが、より豊かな人生を送るためには、バランスのとれた非認知能力と認知能力を育むことが必要とされています。

ペリー就学前教育プロジェクト

アメリカ合衆国で行われたこのプロジェクトでは、低所得者層の計58世帯の3~4歳児に対して2年間にわたり質の高い幼児教育を提供しました。そして、同じ地域でプログラムに参加しなかった子どもと比較する追跡調査が行われました。

提供された幼児教育の内容は、園で週に5日間(2時間半/1日)、子どもの自発的な活動を教師がサポートするものや、教師が週1回の家庭訪問を行い家庭教育を支援するものでした。

■ 質の高い教育プログラムを受けたグループ ■ 受けなかったグループ



参考資料: The High/Scope Perry Preschool Study Through Age at 40
 「幼児教育の経済学/ジェームズ・J・ヘックマン」2015/東洋経済新報社



2.VUCAの時代

VUCA(ブーカ)とは、Volatility(不安定さ)、Uncertainty(不確かさ)、Complexity(複雑さ)、Ambiguity(曖昧さ)という4つの単語の頭文字から取った言葉です。現代の国際情勢・社会環境を表現するキーワードとして使われています。

こうした時代認識の上に立つと、これからの社会を生きる子どもたちにとって、現在から未来は、大きな挑戦の時代になると言わざるを得ません。幼児教育を充実させるためには、子どもたちが変化を前向きに捉え乗り越えていくための力をつけるために何ができるかを、たゆまず考え続ける必要があります。



3.SDGsの取り組み

SDGsは、Sustainable Development Goalsの略で、2015年の国連サミットにおいて「持続可能な開発目標」として採択されたものです。

広範な分野にわたって、2030年までの17の目標と、そのもとに169のターゲットが設定されています。導入部では、SDGsの大切な理念として「誰一人取り残さない」と謳っており、誰もが暮らしやすい社会を実現することが、これからの時代を生きる私たちにとって重要なテーマです。ターゲットの一つには、「質の高い乳幼児の発達・ケア及び就学前教育」の実現が掲げられています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



参考資料：国際連合広報センター「ロゴ（日本語版）」

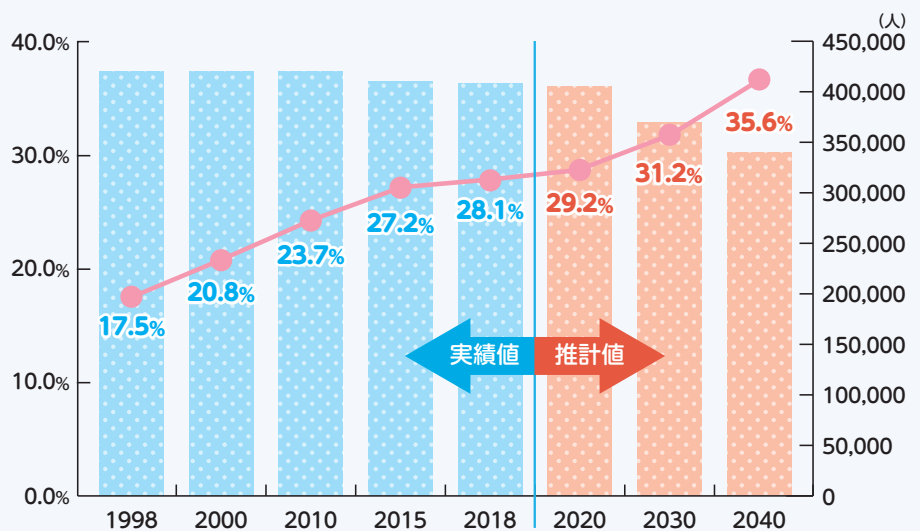
4. 岐阜市の概況

岐阜市の各種データから、状況を確認します。

人口減少 ・ 高齢社会

人口が減少するとともに、高齢社会となっており、将来に向かって同様の傾向にあります。

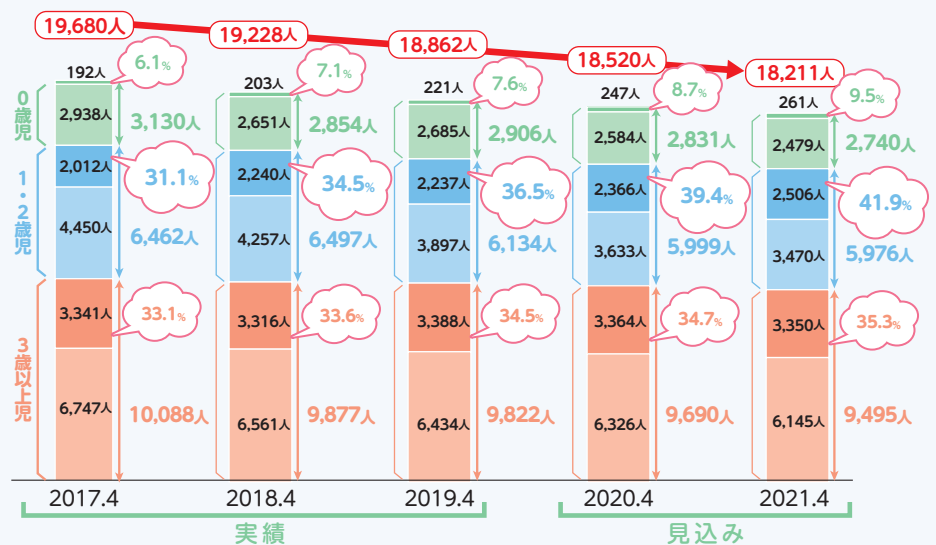
■ 総人口 (人)
● 高齢化率 (%)



参考資料：岐阜市「人口ビジョン」2015

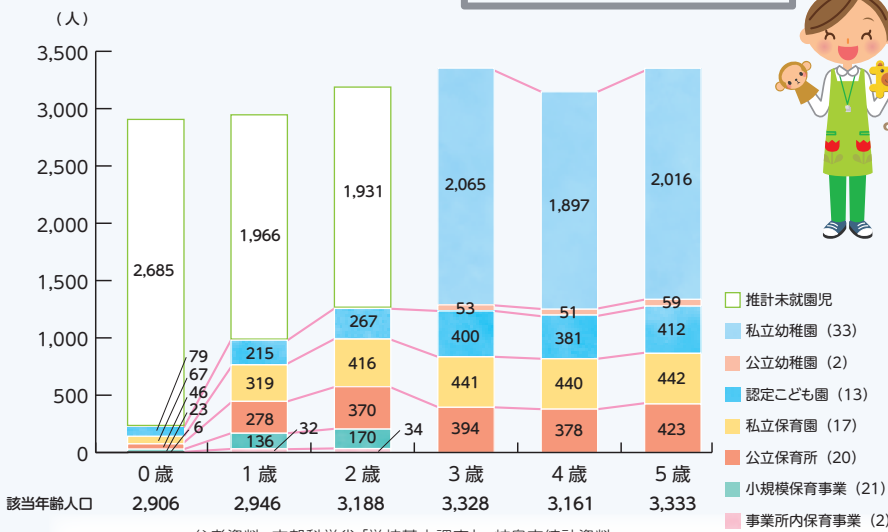
保育 利用状況の 推移と 見込み

子どもの数が減少する一方で、0歳児や、特に1・2歳児の保育を利用する子どもの数は、増加傾向にあります。



参考資料：岐阜市「子育て安心プラン実施計画」

● は、保育を利用(保育園・こども園・地域型保育事業、企業主導型保育事業、一時預かり事業(幼稚園型Ⅱ、私立幼稚園における2歳児からの預かり))する乳幼児の割合です。



乳幼児について、特に3歳から5歳は、幼稚園・保育園・こども園を始めとする教育・保育施設を利用しています。

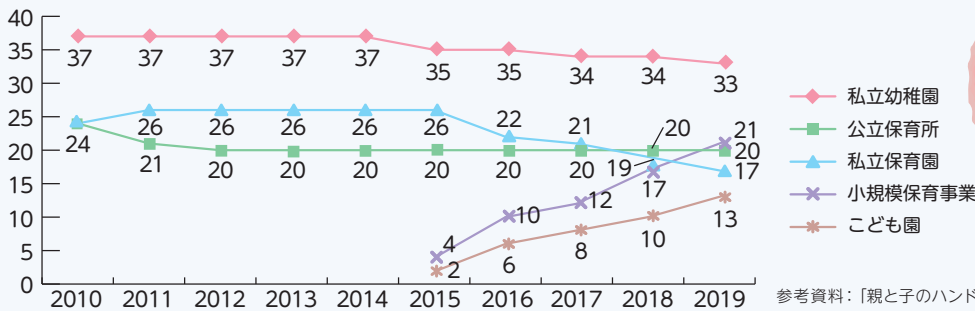
参考資料：文部科学省「学校基本調査」、岐阜市統計資料

● 公立・私立幼稚園は2019.5.1時点(学校基本調査)、その他の施設は2019.4.1時点(子ども未来部)、該当年齢人口は2019.4.1時点(市統計)のものです。

推計未就園児数は、該当年齢人口から各施設利用者数を差し引いて推計しました。また、3歳以上児の該当年齢人口と各種施設利用者数との差(±2桁以内)は記載していません。

なお、認可外保育施設(自治体の認可を必要としないで運営されている保育施設です。)は、集計に含めていませんが、近年は、企業主導型保育事業(会社が保育園を運営するものです。国から保育園の運営費・整備費の助成金が支払われて運営されています。)など、多くの取り組みがあります。

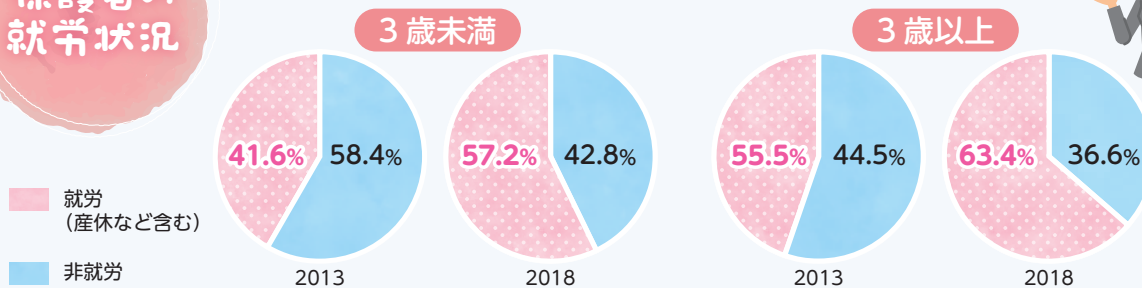
小規模保育事業やこども園が増加傾向にあります。



参考資料：「親と子のハンドブックぶりあ」

保護者の就労状況

2013年から2018年までの5年間で、就労している母親の割合が増加しています。特に3歳未満の子どもをもつ母親について顕著です。



参考資料：「子ども・子育て支援に関するニーズ調査報告書」2019.3

5. その他

全国調査などのデータから、岐阜市の置かれた状況を考えます。

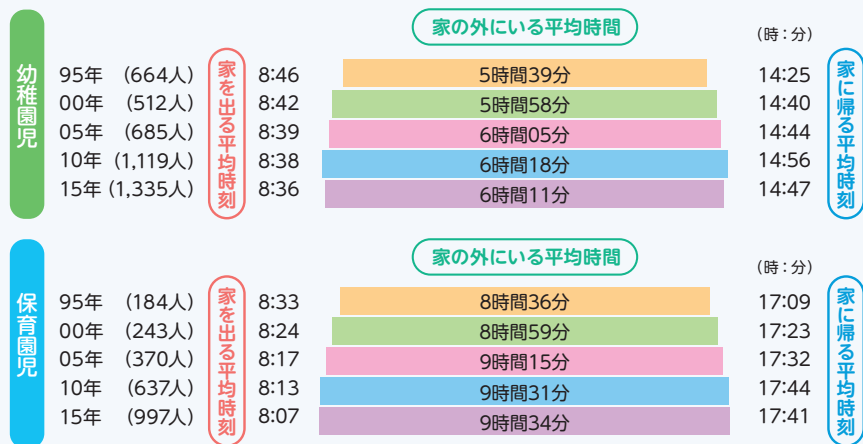


都市部での調査において、幼児が園で過ごす時間は長くなっています。

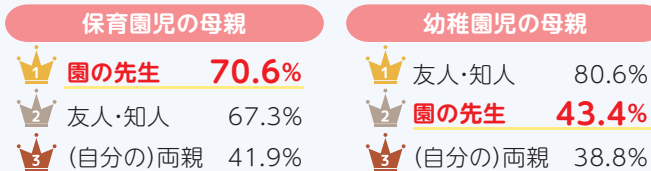
また、母親にとって子育ての重要な情報源が「園の先生」と答えた割合は、保育園児の母親で最も多く、幼稚園児の母親で2番目に多くなっています。

子育てにおいて、園の存在感が増していることが分かります。

家を出る・家に帰る平均時刻と家の外にいる平均時間（就園状況別 経年比較）

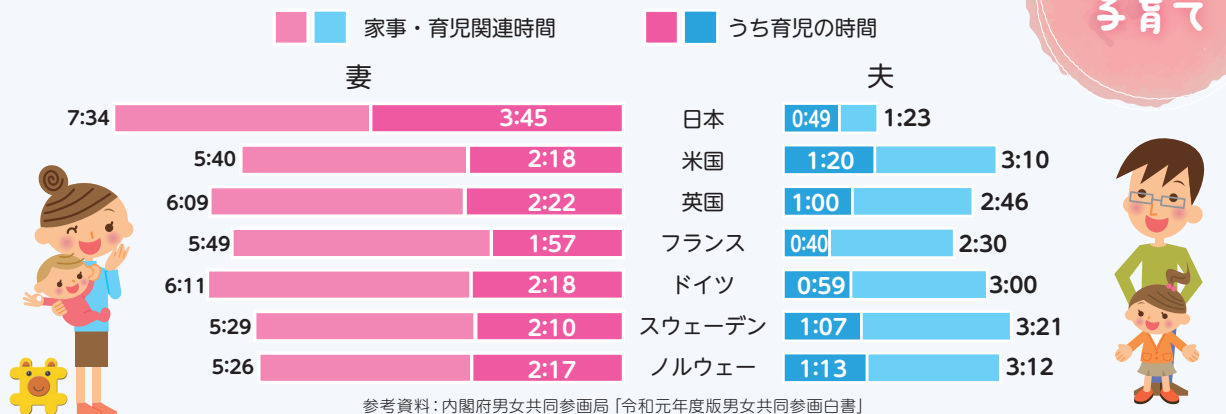


子育てやしつけの情報源



参考資料：ベネッセ教育総合研究所「第5回幼児の生活アンケート」

家庭内に目を向けると、共働き世帯が全国的に増加傾向にある一方で、6歳未満の子どもをもつ夫婦の国際比較における日本の男性の家事・育児関連時間は、諸外国と比較すると、低い水準に留まっています。



参考資料：内閣府男女共同参画局「令和元年度版男女共同参画白書」